



近年のモータリゼーションの進展などによるバスの利用者の減少とともに、行政から運行事業者への補助金の増大から、都市機能として不可欠なバス路線を確保・維持・活性化させるにあたり、新たな視点と逆転の発想を持って、多様な利用や効果を生み出すため、10月1日から「運賃低減バス実証運行」を開始し、市内の路線バス利用者の負担を軽減します！

〈運賃低減バス運行計画〉

市では、「なくてはならない路線バスをもっとまちづくり・人づくり・健康づくりに活かす!」ことを発想の原点として、次の運行計画を定めて運賃低減バスの実証運行を行います。

- ①バス利用者の金銭的負担を軽減する
- ②これまで市が行ってきた「バスの運行補助」から「乗車する人への補助」へ発想を転換する
- ③乗降客数の増加による路線バスの活性化を目指す

1 対象となる路線・・・市内を運行する路線バス(17路線)

上田バス 菅平線、真田線(渋沢線)、傍陽線、豊殿線、
信州上田医療センター線、塩田線、西丸子線、
信州の鎌倉シャトルバス

千曲バス 祢津線、佐久上田線、鹿教湯線、武石線、県道川西線、
室賀線、青木線

東信観光バス 中仙道線、丸子線

※JRバス関東長久保線は除く

2 実証運行の期間・・・10月1日から3年間

3 実証運行で設定する運賃(下表のとおり)

市内を3つのエリア(運賃区界)に分け、同一エリア内での乗降は、1乗車当たり上限300円となります。また、隣接エリア間での乗降は、1乗車当たり上限500円となります。

実証運行期間の運賃の概要

	現行運賃	改定運賃
同一エリア内の乗降	100円～140円	100円
	150円～190円	150円
	200円～240円	200円
	250円～290円	250円
	300円～	300円

	現行運賃	改定運賃
隣接エリア間での乗降	100円～140円	100円
	150円～190円	150円
	200円～240円	200円
	250円～290円	250円
	300円～690円	300円
	700円～790円	350円
	800円～890円	400円
	900円～990円	450円
	1,000円～	500円

- 小児などは半額、なお、端数が出る場合は10円単位に切り上げます(例：大人350円区間は小児180円)。
- 一部区間は、上表とは異なる運賃体系となります。
- 運賃低減バスの対象となるのは、市内での乗降のみです(市外での乗車、または降車となる場合は、現行運賃となります)。
- 通勤・通学定期料金も低減されます。詳しくは市役所地域交通政策課へ問い合わせください。

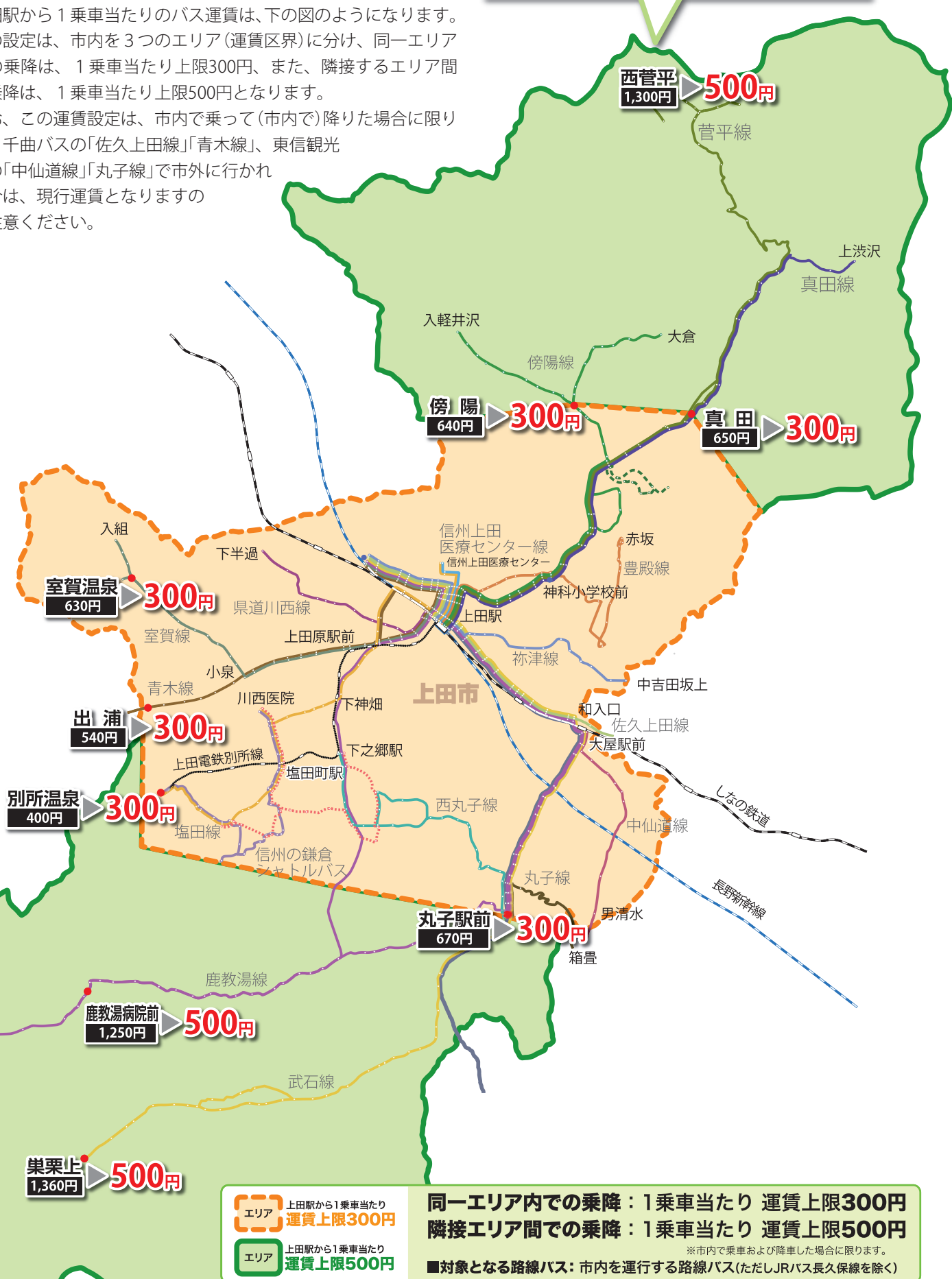
10月から『上田市運賃低減バス』の実証運行を開始します！
乗って残そう！乗って活かそう！バス路線

上田市運賃低減バス運行事業計画(運賃区界)

上田駅から1乗車当たりのバス運賃は、下の図のようになります。運賃の設定は、市内を3つのエリア(運賃区界)に分け、同一エリア内での乗降は、1乗車当たり上限300円、また、隣接するエリア間での乗降は、1乗車当たり上限500円となります。

なお、この運賃設定は、市内で乗って(市内で)降りた場合に限りです。千曲バスの「佐久上田線」「青木線」、東信観光バスの「中仙道線」「丸子線」で市外に行かれる場合は、現行運賃となりますのでご注意ください。

上田駅から1乗車当たりの運賃



※詳しい路線図、時刻表などは、市ホームページをご覧ください。市役所地域交通政策課へお問い合わせください。